

おもちつきごっこをしたよ

先日、おもちつきごっこをしました。最初に、お餅つきをする由来を紙芝居を通して伝えました。お餅つきは、新しい年の神様にお供えして神様と一緒に食べることで新しい命や力を授かるといわれています。そのため新しい年が来る前にみんなでお餅つきをして鏡餅を作り、神様が来られるように飾ります。



子どもたちにお話した後、お餅つきの曲に合わせてお餅つきを楽しみました。幼児は発表会でもお餅つきをする場面があったので、嬉しそうに年下の子に見本を見せてくれました。



ぺったんぺったん

ぺったんこ



大きい子たちの姿を見て、年下の子たちもぺったんぺったんお餅つきをしました。



お餅つきを終えると、うすの中から小さなお餅が！2～5歳児は1人1個お餅を持って、鏡餅型の袋に入れ、大きな鏡餅を作り上げました。最後のミカンは一番小さいひよこ組さんみんなで乗せてもらいました。





子どもたちのおかげで大きな鏡餅ができました。保育園に飾り、新年をお祝いしたいと思います。
これからも行事ごとに由来を知らせ、子どもたちには行事に親しみを持って過ごしてもらいたいです。
2025年も、西部保育園の子どもたちが健康で元気にすごせますように！